

あかりみらいは
ゼロカーボン北海道を応援しています。

菅井 越智さんのメッセージはあかりみらい通信のメールマガジンで拝見していますが、今年になってからも矢継ぎ早に配信されていますね。

越智 昨年末からオミクロン株の感染爆発や日本海溝・千島海溝大地震による津波シミュレーション発表など大きな課題が発生しています。また鈴木知事が全国でも最も早

く手を挙げたゼロカーボン北海道の成果を示さなくてはならないのも今年です。

菅井 百年に一度と言われる自然災害が多発するのも地球温暖化が原因と言われている、それを防ぐ対策がカーボンニュートラルの取組みですね。

越智 カーボンニュートラルは安倍政権、菅政権時代からの世界の課題で



すが北海道は2008年の北海道洞爺湖サミット以来の環境先進地域です。鈴木道政でもゼロカーボンシティ宣言を道内全自治体に勧めています。

菅井 大変大きな目標ですが具体的にはどのような方策がとられていくのですか。

越智 昨年10月に閣議決定された政府行動計画では再生エネルギーの導入や省エネ行動の徹底が盛り込まれています。

北海道では太陽光発電や風力、バイオマス、地熱、小水力発電などいろいろな取組みがあり、ブ



(おち 孝太) 株式会社あかりみらい代表取締役。北海道大学卒業後、北海道電力入社。電気事業連合会企画部副部長、北海道洞爺湖サミット道民会議事務局次長、北海道経済同友会などを歴任。電力業界で初代の危機管理担当室長の経験から自治体企業へのアドバイザーとして活躍。環境・エネルギー問題の専門家。(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事、日本除菌連合の会長を務める。

も具体的な検討が進んでいる地域もあります。

菅井 その中でも1番可能性があるのはどのような分野なのでしょう。

越智 北海道は再生エネルギーの宝庫と言いますがどれも資金と時間がかかる対策です。その中で、実はお金がかからずに大量のCO2を必ず減らすことのできるのが照明分野です。政府行動計画で注目されたのが2030年で100%LED化するという決定です。東日本大震災の電力危機で政府決定された「あかり未来計画」が今回はカーボンニュートラルの観点として新たな目標となったのです。

菅井 あかりみらいのLED化プロジェクトに対して全国からもオファーがあるそうですね。

越智 北海道のほとんどの自治体には全公共施設を一度にLED化するこ



(すがい 貴子) フリーキャスター・気象予報士・防災士・CFP(上級ファイナンシャル・プランナー)・健康気象アドバイザー・科学技術エコリダー。横浜市出身。明治大学理工学部数学科卒業、北海道大学大学院教育学院修士課程修了。現在は北海道文化放送(UHB)「みんなのテレビ」にて気象キャスターとして出演中。講演や執筆なども行っている。

とにより削減される財政

メリット額やCO2量、そのための費用を積算する提案をしていて、すでに半数近い市町村には具体的な試算を提出しています。当社の提案で全施設をLED化した自治体もしくは具体的に検討している自治体も50を超えています。このプロジェクトで提携している全国大手リース会社からの紹介もあり東京、大阪、静岡、沖縄の自治体からも試算依頼が来ています。

菅井 札幌商工会議所のSDGs表彰も受け、マルチな活動がますますスケールアップしているようです。次のあかりみらい通信を楽しみにしています。